

桜川(つくば市)輪中堤整備により約5割の事業費を節減

つくば市北太田の輪中堤



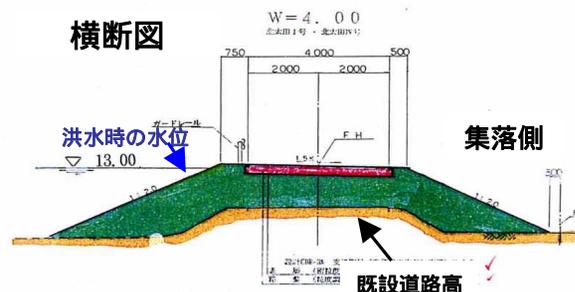
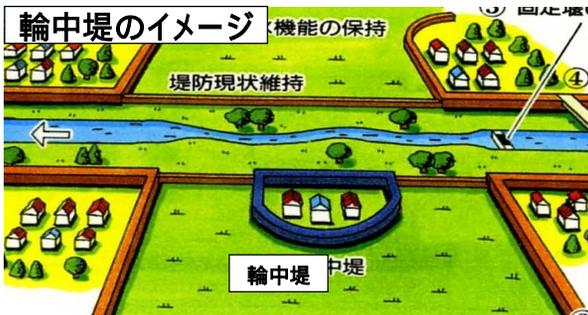
桜川では昭和61年8月の洪水で、中上流部の未改修箇所からの溢水により大きな被害が生じました。

下流からの一連改修では長期間を要することから、短期間に事業効果の発現を図るため、中流部での集落の被害軽減を重点とした輪中堤を設置しました。

つくば市北太田地区には、集落を囲む既存の市道を嵩上げた輪中堤により、58戸の家屋の浸水を防御しています。

堤防により、同じ効果を発揮するには、延長約5kmの堤防と約5億円の事業費が必要となります。

また、嵩上げされた道路は、洪水時においても冠水しないため、避難路として効果を発揮します。



- ・事業期間：平成7年度～平成10年度
- ・事業箇所：つくば市北太田地先
- ・事業費：2億4千万円
- ・事業概要：既存道路嵩上げL=1,490m